NAHA CITY SINCE 1921 100th
那覇市市制100周年
令和3年那覇市は100歳！

# 広報 なは 市民の友

第828号毎月1回発行
2020年（令和2年）
1月

発行　那覇市
〒900-8585那覇市泉崎1丁目1番1号
☎(代表)867-0111
印刷　株式会社　池宮商会
配布　那覇市シルバー人材センター

# 祝「人間国宝」「現代の名工」認定

市内在住の中村 一雄さんが10月、重要無形文化財「琉球古典音楽」の各個認定保持者「人間国宝」に認定されました。

また、11月にはガラス吹工の上原　徳三さんが「現代の名工」として表彰されました。

沖縄が世界に誇る伝統芸能・工芸の世界でご活躍するお2人に、これまでの経歴や今後の展望などを伺いました。

（取材／秘書広報課）

## 人間国宝　歌三線奏者　中村（なかむら） 一雄（いちお） さん（73歳）

人間国宝とは、国が指定した重要無形文化財の「わざ」を高度に体現・体得している者。現在の県内認定者は9人。

### 三線の魅力に取り憑かれ

父親が久米島で村芝居の地謡（じうたい）をやっていて、幼い頃に父のひざの上で三線の音を聴いていたのを覚えています。その後は三線と関わることなく過ごしていましたが、24歳の頃、急に弾いてみたくなったんです。最初は2～3曲弾ければという気軽な気持ちでしたが、やりだしてからは人の2、3倍は稽古しました。

当時は銀行に勤務していたので、毎朝出勤前に1時間、帰宅しても0時過ぎまで、毎日6時間以上は練習していたかな。今考えると何かに取り憑かれたようでした。

琉球古典音楽は普通の歌い方と違って喉を絞って声を出すので、練習のために海で首まで浸かって歌ったり、山に登って叫んだりもしました。今そんなことをすると大変なことになりますよね（笑）28歳で那覇市に転勤してからは、瀬長島で一日中歌っていました。

### 奏者としての覚悟

転機となったのは、30歳の頃に移民の記念事業で南米4か国に行ったことですね。そこで三線を奏でたらみなさん涙を流して喜んでくれて。その姿を見て「三線ってこんなにいいものなんだ。やはり生半可ではダメだ、やるなら徹底的にやろう」と心に決めました。

海外公演などで長い休みをとらないといけないこともありましたが、同僚や上司の協力があって、仕事と芸能の両立ができたと思います。

### 歌三線で紡ぐうちなーの未来

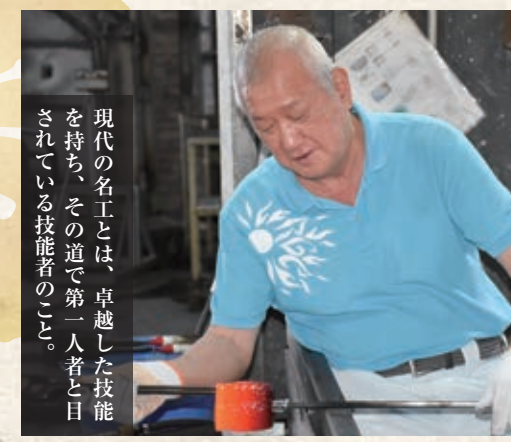
首里城の正殿や御庭（うなー）では数えられないぐらい演奏しました。火災は言葉も出ないほど残念ですが、沈んでばかりではいかんと思っています。私が作曲した「首里城節」という曲があるのですが、まだ作っていない3番の歌詞は、首里城が再建したときに完成させたいと思っています。

今後は、後進たちへの技術指導をしながら、流派をこえて琉球古典楽界を盛り上げていきたいです。

三線は不思議なもので、お祝いだけじゃないんですよ。葬式や病院で看取りのときに演奏されることもあります。沖縄の三線は心に安らぎを与える効果があると思いますね。

認定書交付式＝11月13日、東京

## 現代の名工　ガラス吹工　上原（うえはら） 徳三（とくぞう） さん（67歳）



現代の名工とは、卓越した技能を持ち、その道で第一人者と目されている技能者のこと。

### 15歳でガラスの世界へ

寄宮にあった奥原硝子製造所に親戚のおじさんが働いていて、中学生の時からお弁当を届けに行っていたんです。卒業したらおいでよと言われ、15歳でガラス制作の世界に入りました。

入社後は廃ビンを回収して洗ったり、薪を割ったり、とにかく下積みが長くて8年間は工場に入れてもらえませんでした。工場に入れた後も、型押しやポンテ（吹き竿から別の竿に受け渡す作業）を5年ほど。当時は、「見て覚えなさい」と言われました。その後、やっと工場で小さいコップを吹かせてもらえるようになりました。そのうち花瓶や薬瓶なども作れるようになって「これはおもしろいな、この道でやってみようかな」と思い、あっという間に52年が過ぎていました。

### 自分にしかできない仕事を

当時作っていたのは、菓子瓶などの日用品がほとんどです。今、菓子瓶を作れる職人は全国でもほとんどいないと思います。

これまでの仕事で印象深いのは、1994年の琉球ガラス村ハノイ工場の立ち上げです。窯をレンガで作るのですが、失敗したら数千万円の損失なので、プレッシャーで夜も眠れませんでした。

立ち上げから15年ほどは沖縄とハノイを半年ずつ行き来する生活を続け、約180人の職人をベトナムで育て上げました。

### オリジナリティの追求

琉球ガラスの魅力は、ハンドメイドならではの柔らかさを表現できるところです。作品のこだわりは、ラインの柔らかさと色の流れですね。「五彩色」というオリジナルの技法があって、五色のガラスの流れ方によって焼き上がりが変わるんです。

現代の名工に選ばれたのは、周りのみなさんの応援のおかげなので、感謝しています。今後は、後輩たちに自分の技を伝えていくのはもちろん、まだまだガラスとふれあって遊びたいと思っています。触らないとアイディアは浮かばないですから。

職場から自宅へ帰宅する車の中から、真っ赤な太陽が沈んでいくのが見えるんです。あの空の色をガラスで表現できたらと思っています。たくさんの作品を作ってきたけどまだまだ作りたい。夏場は工場の温度が45度ぐらいまで上がるので体力面が少し心配ですけどね（笑）

那覇市の公式Youtubeチャンネルで、中村さんの演奏と上原さんの作業風景を配信しています。人間国宝と名工の技術をぜひ動画でご覧ください！

主な紙面

● 祝「人間国宝」「現代の名工」認定 …… 1
●こども園保育教諭・ヘルパー募集／市長あいさつ …… 2
●市営住宅入居者募集／国際通りの交通渋滞の緩和に向けて／2020那覇観光キャンペーンレディ応募受付中／ナハメカルパーキング3月供用開始 …… 3
●情報パック …… 4～7
●博物館トピックス／ニュースダイジェスト／読者プレゼント …… 8

総人口 322,086人（5,730人）　世帯数 154,577世帯（4,158世帯）
男:156,183人（3,004人）
女:165,903人（2,726人）
※（　）内はうち外国人
※総人口と世帯数は2019（令和元）年11月末現在

Facebook　LINE　Instagram　防災 Twitter　マイ広報誌　そ大ごみ受付